

日本鱗翅学会第 60 回大会（堺）のご案内

日本鱗翅学会第 60 回大会を下記の通り実施することになりましたのでご案内します。

多数のご参加をお待ちしております。なお、本大会は大阪府内の昆虫同好会（大阪昆虫同好会、南大阪昆虫同好会）の後援をいただいております。また、大阪府立大学創基 130 周年記念事業の一環として補助金をいただいております。

■ 会場

大阪府立大学中百舌鳥キャンパス B3 棟 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1

Tel/Fax 072-254-9413（昆虫学研究室）

懇親会場 大阪府立大学学生会館 生協食堂

■ 日程

2013 年 11 月 9 日（土）～11 月 10 日（日）

9 日（土） 評議員会（午前中）、シンポジウム、小集会、一般講演ポスター、高校生ポスター（コアタイム）、懇親会

10 日（日） 小集会、一般講演、自然保護委員会、総会

※8 日（金）の夕方に会場内で理事会を開催します。

■ 会費

大会参加費 3,000 円、懇親会費 6,000 円、講演要旨集のみ 2,000 円（送料込み）

昼食代（弁当+お茶）1,000 円（2 日目のみ）

■ 優秀発表賞

大会企画として、高校生ポスターと若手（30 歳以下）一般講演の優秀発表に対して表彰を行います。受賞者の発表および授賞式は、高校生ポスターが 1 日目の 16 時 45 分から、若手一般講演は 2 日目の 16 時 15 分から行います。

日本鱗翅学会第 60 回大会プログラム

* プログラムは 8 月時点のものです。一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

A 会場：B3 棟 1 階 117 番 大講義室（シンポジウム、一般講演・小集会、総会等）

B 会場：B3 棟 1 階 118 番 大講義室（一般講演・小集会）

P 会場：B3 棟 1 階 106 番 会議室（ポスター、後援団体展示、休憩室、企業展示）

各種会議：B3 棟 1 階 107 番 小講義室（評議員会、自然保護委員会等）

大会事務局：B3 棟 1 階 108 番 小講義室 PC 動作確認はこちらでお願いします

昼食時休憩室（2 日目）、後援団体展示等の一部（予定）：B3 棟 1 階 116 番 中講義室

第1日目 11月9日(土) 12:00~20:00

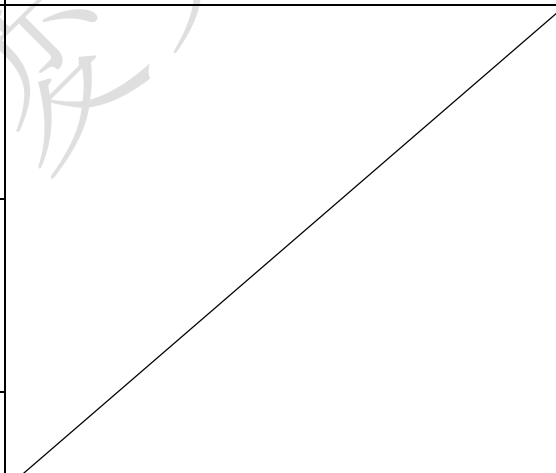
時間	内容	会場
10:00~12:00	評議員会	107 小講義室
12:00~	大会受付開始	北エントランス
13:00~13:15	開会の挨拶	A 会場
13:15~15:15	第60回大会記念公開シンポジウム	(117 大講義室)
<p>「鱗翅学最近の進歩」</p> <p>S-1 本田計一(広島大名誉教授) マダラチョウの生活に関わる植物成分とその多様な機能</p> <p>S-2 川北篤(京大生態研) ホソガ科ハナホソガ属における絶対送粉共生の進化</p> <p>S-3 ○中谷貴壽・宇佐美真一・伊藤建夫(信州大) DNAで探る高山蝶の来た道</p> <p>S-4 坂本佳子(大阪府大) 細胞内共生細菌 <i>Wolbachia</i> がシルビアシジミに与える影響</p>		
15:15~15:30	記念写真撮影	中庭(雨天A会場)
15:30~16:30	ポスター発表、高校生ポスター発表 コアタイム	P会場(106 会義室)
<p>●一般講演ポスター発表(展示は2日目の15時まで)</p> <p>P-1 ○中臣謙太郎(関東)・本田計一(中国) アゲハモドキ科3種の生態並びに天敵防禦物質</p> <p>P-2 松田真平(近畿) 大阪府茨木市竜王山付近のチョウと、安威川ダムおよび高速道路の建設について</p> <p>P-3 河村俊(近畿) 大阪、西除川源流部のチョウ相 1998~2012年(15年間)の調査結果</p> <p>P-4 阿部剛(東北) 東日本大震災後の海岸部に生息するスカシバガの現状</p> <p>P-5 阪口博一(南大阪昆虫同好会) 南大阪のチョウ(仮題)</p> <p>P-6 西迺春雄(南大阪昆虫同好会) 堺市の大泉緑地で稀に見るチョウ</p> <p>P-7 岸勘治(南大阪昆虫同好会) 南大阪のチョウ 今昔(仮題)</p> <p>P-8 三輪健一郎(南大阪昆虫同好会) 大阪南部 和泉市での鱗翅類調査活動について(仮題)</p> <p>●高校生ポスター発表</p> <p>HP-1 穂積朋来・風見千夏・藤井美帆・善養寺聡彦*(千葉県立木更津高等学校, *指導教員) 千葉県高塚山のアサギマダラ</p> <p>HP-2 風見千夏・藤井美帆・穂積朋来・善養寺聡彦*(千葉県立木更津高等学校, *指導教員) 高塚山におけるキジョランの生育状況</p> <p>HP-3 久野将也・山田秀元・山村京子*(静岡県立磐田南高等学校, *指導教員) アサギマダラの生態 - 野外調査と実験から -</p> <p>HP-4 金丸那奈美1・小笠原葵1・富永しよみ1・西岡満梨奈2・三好康彦3*(三好市立三野中学校, 現所属:1 徳島県立脇町高等学校, 2 徳島県立池田高等学校, 3 徳島県立博物館, *指導教員) シルビアシジミの異常型にメンデルの法則が当てはまるか</p>		
16:30~16:45	高校生ポスター発表 授賞式	P会場
16:45~18:00 小集会		

A 会場 (117 大講義室)	B 会場 (118 大講義室)
WA-1 「保全のための放蝶に関するガイドラインー普及に向けた話題提供ー」世話人：日本鱗翅学会自然保護委員会 井上大成（関東）外来種ホソオチョウは採集圧で減らせるか～茨城県での4年間の試み 松村行栄（関東）赤城山（群馬県）におけるヒメギフチョウの保全活動 福本匡志（信越）長野県におけるオオルリシジミの保全活動（仮題）	WB-1 日本鱗翅学会アサギマダラプロジェクト公開シンポジウム 世話人：渡りチョウを調べる会 ○橋本定雄・三枝博幸（富士山アサギマダラを調べる会）富士山周辺から展望するアジアのアサギマダラ 金沢至（大阪市立自然史博物館）アサギマダラなどの移動蝶の最新情報
18：15～20：00 懇親会 大阪府立大学学生会館 生協食堂	

第2日目 11月10日（日）9:00～16:30

9：00～10：15 一般講演		
	A 会場 (117 大講義室)	B 会場 (118 大講義室)
9：00	A-1 ○竹内剛（近畿）・高橋純一・野村哲郎・椿宜高 クロシジミの遺伝構造：生息環境の影響	/
9：15	A-2 伊藤ふくお（近畿）都市近郊の植物園におけるキタキチョウの越冬生態	
9：30	A-3 佐々木理菜・平井規央・石井実（大阪府大・生命）モンシロチョウは赤い花が見えるか？	B-1 ○中臣謙太郎・横田光邦（関東）関東平野の <i>Catocala</i>
9：45	A-4 棚橋一郎（大阪工大）・御船藤志（福島虫の会）・平井規央・石井実（大阪府大）光によるツマグロキチョウの裏翅の変色	B-2 綿引大祐（関東・東農大院）吉松慎一（関東・農環研）ネグロフサヤガ <i>Targalla delatrix</i> (Guenée) (ヤガ科；フサヤガ亜科) とその近縁種の分類学的研究
10：00	A-5 宮武頼夫（元大阪自然史博）橿原市昆虫館の里山のチョウ相ー2012年・2013年のルートセンサス結果	B-3 ○長田庸平（九大院・生資環・昆虫）・坂井誠（共生科学）・広渡俊哉（九大院・農・昆虫）日本産 <i>Morphaga</i> 属（ヒロズコガ科）に関する分類学的新知見
10：15	A-6 松井安俊（関東）・星 光流ヒメウラナミジャノメの季節適応を考える	B-4 四方圭一郎（信越）本州中部で発見されたキリガミネアツバについて
10：30～10：45 休憩		

10:45~12:00 一般講演		10:45~12:00 小集会	
	A会場(117大講義室)		B会場(118大講義室)
10:45	A-7 福田晴男(関東) 日本と周辺域のホシミスジの種分化と生物地理	WB-2「冬夜蛾の魅力ーキリガことはじめー」世話人:四方圭一郎	
11:00	A-8 河合和幸(東海) 岐阜県におけるヒメヒカゲー最近の動向	四方圭一郎(信越) ニッポンの冬夜蛾	
11:15	A-9 三宅誠治(中国) ベニモンカラスシジミ中国地方亜種のRDB上の取扱いについて	矢崎克己(関東) シャクガ屋もハマったキリガの魅力	
11:30	A-10 松田真平(近畿) 英国人やドイツ人、フランス人が記載した日本周辺のチョウとタイプ標本	小林秀紀(関東) 冬夜蛾キングが選ぶ、珍品キリガトップ10	
11:45	A-11 北原曜(信越) サトキマダラヒカゲとヤマキマダラヒカゲの交雑結果	阪本優介(日本蛾類学会) ボクがキリガ屋になったワケ	
12:00~13:00 昼食 12:00~13:00 自然保護委員会(公開:107小講義室)			
13:00~13:30 総会			
13:30~14:45 一般講演		13:30~14:45 小集会2	
13:30	A-12 ○尾崎絵理・江田慧子・中村寛志(信越) ミヤマシジミのメス成虫が休眠卵を産卵する条件	WB-3「ミクロレピ談話会~小蛾類の多様性を語る!~」世話人:長田庸平(九州)	
13:45	A-13 ○江田慧子・熊澤真優・尾崎絵理・辻井美徳・桐生雄介・中村寛志(信越) 長野県におけるクロコノマチョウの分布拡大に関する研究	長田庸平(九州) 菌食性小蛾類の多様性とシイタケ害虫の問題点	
14:00	A-14 ○吉村忠浩・竹内剛・森地重博・Anja Silwa・石井実 大阪府北部鴻応山におけるギフチョウ個体群の現状と補強の試み	寺田剛(九州) ニセマイコガの多様な食性と肉食性の進化	
14:15	A-15 ○中上喜史・石井実(近畿) 北陸地方と大阪におけるヒメアカタテハの季節消長	小林茂樹(近畿) 潜葉性小蛾類の潜孔習性と寄主植物	
14:30	A-16 矢後勝也(関東・東大博) 東京大学所蔵の注目すべきチョウ類標本ー佐々木忠次郎、加藤正世、五十嵐邁らのコレクションからー		

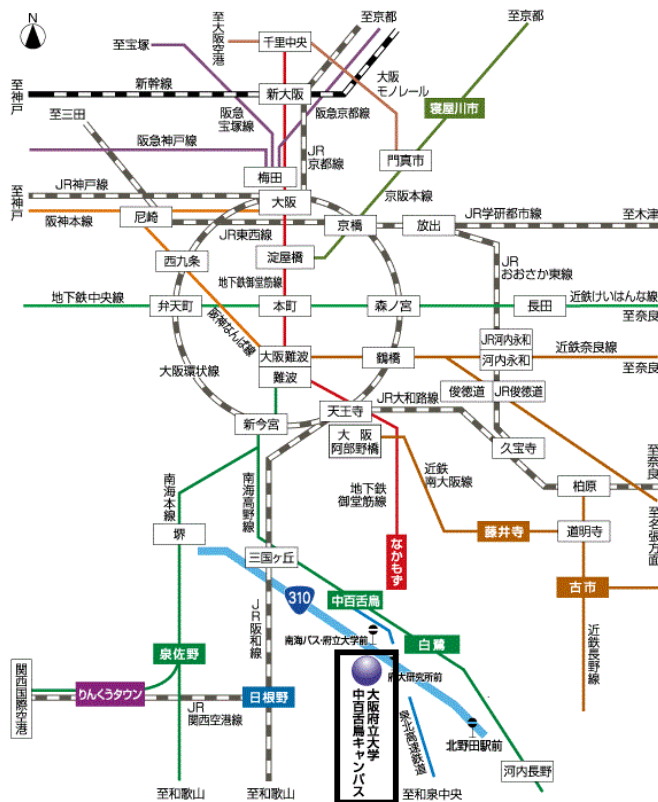
14 : 45~15 : 00 休憩		
	A 会場 (117 大講義室)	B 会場 (118 大講義室)
15 : 00	A-17 渡辺康之 (近畿) 北海道・大雪山系のクモマベニヒカゲの分布と棲息環境の変遷について	B-5 寺本憲之 (近畿 ; びわ湖の森の生き物研究会) ヤママユにブナ科植物以外の葉を与えた場合の反応
15 : 15	A-18 蓑原茂 (関東)・森地重博 (近畿)・平井規央 (近畿) 大阪国際空港とその周辺生息地におけるシルビアシジミのメタ個体群構造	B-6 那須義次 (近畿) 「日本産フサゲマダラハマキガ族 Polyorthini (ハマキガ科, マダラハマキガ亜科) について
15 : 30	A-19 森地重博 (近畿) 沖縄で観察したベニモンアゲハの集団睡眠	B-7 吉松慎一 (関東・農環研)・綿引大祐 (関東・東農大院)・上里卓己 (沖縄県農林水産部園芸振興課)・島谷真幸 (沖縄県農業研究センター宮古島支所) 日本で 2010 年に初めて害虫化したアフリカシロナヨトウのその後の状況
15 : 45	A-20 ○小野克己 (近畿)・寺章夫 (関東) 京都北山のウスバシロチョウ産地の現状 (特に鹿の食害の影響について)	
16 : 00	A-21 石井実・谷川哲朗・天満和久・天満奈央・平井規央 (大阪府大・生命) ギフチョウは気候温暖化により衰退するか?	
16 : 15	優秀発表授賞式 閉会挨拶	
16 : 30	終了	

<p>○大会事務局</p> <p>大会会長 八木孝司</p> <p>事務局長 平井規央</p> <p>運営委員 日本鱗翅学会近畿支部幹事 : 伊藤ふくお、小野克己、木村富至、近藤伸一、諏訪隆司、竹内剛、棚橋一郎、寺本憲之、那須義次、松田真平、南尊演、村瀬ますみ、森地重博、吉安裕</p> <p>問い合わせ先 : この大会に関するお問い合わせは、事務局長 (平井) までお願い致します。</p> <p>〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1</p> <p>Tel/Fax 072-254-9413 (昆虫学研究室)</p> <p>E-mail : LSJ60@envi.osakafu-u.ac.jp</p>
--

○その他

- (1) 大学構内では指定場所以外では喫煙禁止となっています。
- (2) 大学構内は原則としてマイカーの乗り入れ禁止です。公共の交通機関でお越しください。
- (3) 集合写真は撮影しますが販売はしません。他のスナップ写真と共に学会のホームページに登録しますので、自由に閲覧、ダウンロードしてください。

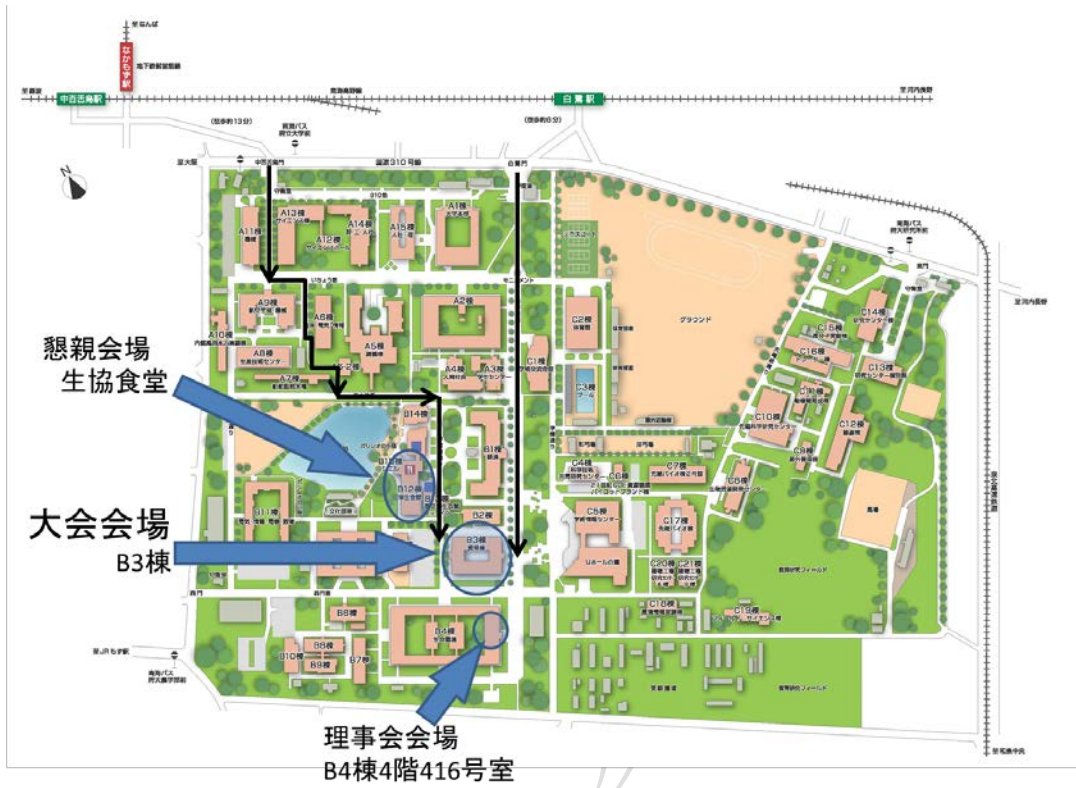
1. 大会会場へのアクセス



①南海高野線「白鷺」から南西へ徒歩10分。②地下鉄御堂筋線「なかもず」から南東へ徒歩20分。③南海本線「堺」、阪堺電軌阪堺線「宿院」、JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘」から南海バス（北野田駅前）で「府立大学前」下車、徒歩5分。④タクシーの利用は「なかもず(中百舌鳥)」駅か「三国ヶ丘」駅が便利。



【会場案内】



【会場詳細】 注意：上の図と南北が逆です。

